

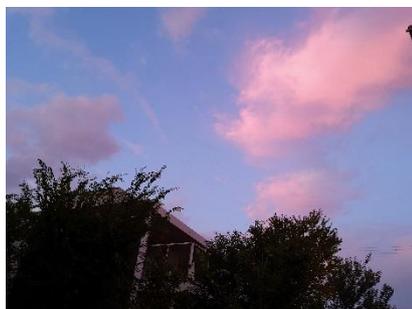
2021年10月1日  
社会福祉法人 清松学園  
幼保連携型認定こども園 かえで保育園  
園長 引地 美津代



## かえで ゆうびん 10月号

「天高く馬肥ゆる秋」といわれるように秋の空は澄みきっていて、様々な雲が風に吹かれていろんな形に変化していきます。馬が肥えるくらい収穫があり、過ごしやすい季節という表現です。日本には自然の変化に気付かせてくれる四季があり、最近では異常気象といわれながらも9月の後半になると生ぬるい温風から、さわやかなすっきりした風が変わってきたことが感じられます。暑さ寒さも彼岸まで・・と本当に23日を境に風が変わってきました。そのような自然の営みや変化を毎日園庭で子どもたちと感じられることが一番の楽しみです。

先日も通り雨が過ぎた後、東の空にきれいな虹が出ていた様子を、雨宿りしていた幼児さんが「わあ～にじだ!!」「すごい」「きれいね～」と口々に叫んでいました。何もわからない乳児も指をさされる空を見上げてニコニコ・・・言葉や感情はこうして見て、感じて、感情や表現を習得していくんだと空を見上げながら感じていました。



また、今年のお庭での作物の収穫はゴーヤー、パプリカは「藤森醤油」で甘辛く、ご飯が進む味付けで子どもたちの味覚を刺激しながら美味しいものへ変身していきました。マスカットは理事長が丁寧にお世話をしてくださった結果、甘く上品な味になりました。もう少しするとサツマイモが収穫できます。また、焼き芋やお昼ご飯になって子どもたちの口に入っていきます。かえでのお庭も月日を重ねていくごとに深みが出てきました。

そんなかえでの生活も今年で11年となりました。10周年を記念して、記念誌を作成することになり、在園児の保護者の方々から卒園児・卒園児の保護者の方々にもメッセージを募集しました。たくさんの方々から協力いただきありがとうございました。心温まるメッセージをいただき、構成や編集しながら10年間の重みと立派に育ててくださった卒園児さんの言葉に思わず涙が出そうになりました。

このかえでで育っていく子どもたちの環境をどのようにしていこうか、今求められている子育て支援をどうしていこうかとよくよく考え一つずつ組み立ててきました。この10年間、職員と切磋琢磨しながら『子供にとって』をキーワードに進めてこられたこと。今年を一つの区切りとしてまた新たな気持ちで進めていきたいと思っています。

さて、予期もしていなかったコロナ禍の中での生活もうすぐ2年を迎えようとしています。先の読めない生活にうんざりですが、第6波も確実に襲ってくるでしょう。人間はどんな逆境にも耐えられる精神力とその状況でも工夫し、解決に向けて進んでいける力が備わっています。感染症がなくなってしまうことは望めませんが、できる限りの対策を講じながら新しいスタイルで保育を組み立てていきたいと思っています。

感染者も減少してきています。ワクチン接種も進んできました。今自分にできる事をしっかり考え子どもたちが健全な毎日を送れるよう保護者の方々や職員と協力しながら進めていきたいと思っています。まずは段階を踏みながらですが園庭内に保護者の方が入っていただけるよう準備します。クラスごと少人数で、お子様の育ちをお伝え出来る時間もとっていきたくと思っています。よろしくお願いたします。

かえでの誕生会は担当の職員が季節感を大切にお祝いのお花を用意します。

9月の誕生会では「秋桜」を飾りました。毎月、「どんなお花がいいかな？」と誕生児の喜んで  
いる顔を思いながら、花選びをしています。

9月の花、秋桜の葉は風が吹くと優しくなびき、見ているだけで癒されます。

毎回、誕生会の後に玄関に飾りますが、子どもたちは、花より葉っぱに興味を示し

「ほわほわー」と言いながらそっと触る姿が見られました。花選びにはもう一つ、子どもたちが  
誕生会で飾ることをきっかけに季節の色々な花に触れたり匂ってみたり、名前を知ること  
楽しみにしてもらえたらと思っています。

最近の朝の様子です。子どもたちが登園し、玄関先で職員が受け入れを行った後、基本的に  
0・1歳児の子どもたちは職員と共に保育室に行きます。

1歳児の子どもたちの中には促されなくても自ら手洗いを行ったり、かばんをロッカーまで持っ  
ていったりすることができるようになってきました。つぼみぐみになると、靴を片付け・靴下を  
かばんにいれるところまで自分で行っています。幼児クラスでは4月に新しく取り入れた靴下を  
ひっかけるクリップが大変堅かったのですが何度も繰り返すうちに今では「手伝って」と言わな  
くても、各自で使いこなせるようになってきました。

長い間、保護者の方に園の中の様子を見ていただけていませんが、子どもたちは困った時には  
自ら考えたり友だちの手も借りたりしながら生活力がついてきました。

園内での様子を見ていただける日が早く来ることを日々願っています。

主幹保育教諭 藤森 寿美

風が運んでくれる匂いから、秋の訪れを感じます。どんぐりの木もいくつも実をつけ、ころんと  
地面に落ちたどんぐりを見つけては、みんな目を輝かせています。

園庭から元気な声が聞こえてくる16時頃、一人のいぶきさんが誰もいない靴箱へやってきました。  
ポケットに手を入れてそっと取り出したのは、つやつやのどんぐり。どんぐりをじっと見つめると  
ふふっと頬が緩みます。

お相撲さんが四股を踏むように揺れながら、「おいけにさそって、(はまって) さあたいへん♪」  
曲の一節をうたうと、さっとポケットへ“たからもの”を戻し、何事もなかったように皆のいる  
園庭へ向かっていきました。

大人や友だちのいないところで、一人ふと浮かべる表情が、何とも愛おしい瞬間でした。

だいち組は“だいぼうけんの日”が近づくにつれて楽しみと物語への想いが高まっているようです。

卒園生の心にも強く残っているこの一日を、今年のだいちさんにもうんと楽しんでほしい、

お泊りは出来ないけれど、想いの詰まった最高の一日に…と、職員もだいちさん同様この日を大切に  
思っています。かえで保育園では、“行事のために日々を考える”のではなく、“日々の経験や想いを  
表現する一日”だと考え計画をしています。4月からの成長だけでなく、お子さん一人ひとりが  
生まれてから今までに重ねた経験や、培ったこと全てが今に繋がっているのだと思います。そして  
これからどのような経験や物語が待っているのか、この先の世界がどのように広がっていくのか、  
楽しみがどこまでも膨らみますね。

副主幹保育教諭 河本彩奈

## ～めばえぐみ～

ねらい：「いろいろな物や素材に触れて感触を楽しむ」「自然に触れて遊ぶことを楽しむ」

うた：「おおきなくりのきのしたで」「まっかなあき」「くだものれっしゃ」

わらべうた：「トウキョウトニホンバシ」「このここのこ」

気温も少しずつ下がりトンボも園庭を飛び始め、秋の訪れが見え始めてきました。できるだけ外気浴を行うため、お天気のいい日には園外にお散歩に行っています。歩く事が上手になってきている子どもが増えてきました。園庭では散歩をしたり、築山や階段の昇り降りに挑戦する姿が見られます。室内では保育者と1対1で関わる時間も大切にしながら、わらべうたや絵本も楽しめるようになりました。絵本に合わせて手を叩いたり、足を動かしたり、身体を揺らしたり、保育者と一緒に声を出したり。絵本を見るだけでなく、全身で楽しんでいる様子が見られます。

### “お散歩って楽しいね”



歩く事も上手になり、お天気がいい日には靴を履いてお散歩に出かけました。

バギーで公園まで行き、公園では自分の足で歩いてどんぐりや葉っぱを拾い散歩を楽しんでいます。春ごろにバギーで散歩に行った時と比べると、様々な物に興味を示して指差しをするようになりました。「あ！あ！」とバスやトラックなどに手を振ったり、道に植えてある葉っぱを見つけて触ろうと手を伸ばし保育者が「葉っぱだね」と言うと、子ども達も

「ぱっぱ」と嬉しそうです。靴を履いて歩くことができ、保育者と手を繋いで楽しそうに歩いている子どもの表情は、とっても楽しそうに笑っていて、キラキラ輝いています。バギーに乗って見ていた景色が自分の足で歩いて見ると、全然違う景色が見えてわくわくの散歩でした。



### “トロトロ？サラサラ？”

4月から砂や泥、水、絵の具など色々な素材に触れ、色々な感触遊びを楽しんでいます。今月は、握ると固まり、握らなければサラサラ、トロトロになる片栗粉粘土で感触遊びを楽しみました。初めは、白い液体に指先でつついて恐々触れていましたが、保育者が上から下にすくって落とすと落ちてくる液体に手を

伸ばし不思議そうに触っていました。しばらくすると、

濡れていたはずの手が乾いてしずくが固まっているのが楽しく、夢中で手に

ついた液を触り感触を確かめていました。塊を手の上に置くと、段々サラサラになっていくのに驚いて「エーン」。でも、泣きながらも気になるようで、保育者の手の上にある塊をツンツン触っていました。水でもなければ、絵の具でもない、握って力を入れて触ると固まる不思議な粘土に子ども達は興味津々で、夢中で遊んでいます。



### “担任の思い”

保育者と一緒に何かをする事や1対1でわらべうたを歌い、絵本や歌が大好きな子ども達。1回すると“もう1回”と手で伝えてきてくれます。何度繰り返しても同じところで笑っています。

最近では、友だちがしていることや、友だちに興味が出てきて、友だちを指さして名前を覚えてほしいと伝えてくれています。そんな子ども達とのたくさんの感触遊びをするのが楽しみです。秋になると落ち葉を踏んだり触ったりして様々な感触を楽しめます。子ども達はどんなことを感じているのか、何を夢中で見ているのかなどを保育者間や保護者の皆様と共有してたくさんの秋を感じたいと思います。

## ～ふたばぐみ～

ねらい：「散歩に出かけ、秋の自然に触れてあそぼう」「やってみたいことに挑戦してみよう」

うた：「どんぐりころころ」「やきいもじゃんけん」 わらべうた：「このここのこ」「おてぶしてぶし」

過ごしやすい気候の日が増え外遊びも少し長い時間遊べるようになってきました。どんぐりを見つけ拾ったものを見せてくれるようになり、少しずつ秋も感じながら遊んでいます。雨の日も多いですがサーキットをして体を動かしたり、楽器で遊んだり、新聞を破って頭から被ってみたりと楽しんで過ごしています。してほしいことや嫌なことなど思いを言葉や態度で示し伝えようとする姿もみられます。

### “洗濯あそび”

今月は“せんたくねこさん”の絵本を読んだこともあり洗濯あそびをしました。泡をつかって遊ぶのはこの夏たくさん経験して遊んだのでいつもどおり石鹸を泡立てて「あわあわー」とたくさん泡をつかっていました。赤ちゃんの服やエプロン、かばんなどお洗濯したい物をもって来ると「ちょうだい」と言って泡のたらいの中に勢いよくいれていました。くしゅくしゅもみ洗いしたり、ばしゃばしゃたたき洗いをしたりと、思い思いにきれいにしてくれました。最後には保育者が絞ったものを洗濯ばさみで干し、紐にかけてお洗濯が完了しました。砂の上に落としてしまい「あっ…」と思ったもののそのまま洗濯物を干すと、そばからお友達に「すな！」と指摘されてしまう面白い場面もありました。お部屋に入ったあとも窓越しに干してある洗濯物を眺めている子どももいました。



### “みせてみせて、これなーに”



先月に続きあおむしの観察をしています。卵から小さな幼虫がでてくるのですが弱ってしまいさなぎになるまで観察するのは難しく保育者もいろいろ調べて試行錯誤する日々です。今月は元気な大きいあおむしがやってきてくれました。子どもたちも「あおむし？ちょうちょ？」と顔を近づけて飼育ケースの中をのぞいています。ある日大事なあおむしがいない！？探し

まわった結果おむつ台とロッカーの隙間で発見しました。子どもが開けた指一本分の穴から脱走していました。そんな元気なあおむしがついにさなぎになりました。モンシロチョウを育てた時のようにちょうちょになる所も一緒に見届けられたらいいなと、さなぎに「がんばって」とエールを送る日々です。

そしてリボベジをはじめました。野菜のへたや根っこからまた葉っぱなどを再生させることをリボンベジタブルと言うそうです。まずは豆苗を観察しています。「これなーに？」と言いながら葉っぱを指でツンツンついたり、においをかいでみようと鼻を近づける子どももいます。葉っぱがぐんぐん伸びていく様子を観察して楽しんでいます。また他の野菜でも挑戦してみたいなと思っています。



野菜スタンプした布が鞆になりました。

### “担任の思い”

お友達がしている遊びに加わり、一緒に積み木を積んで、同じ線路で遊ぶ姿が見られるようになりました。顔を見合わせて笑って、「かして」「どうぞ」と言葉でのやりとりも「自分で」したいことやお友達と同じことをしてみたいなど「やってみたい」ことがたくさんできてきました。出来るところや頑張ってみようとしているときには見守り、難しいところはそっとお手伝いしながら“やってみたい”意欲を大切に関わっていきたいと思います。お散歩にもたくさん出かけていきます。行き帰り歩くことに挑戦して、どんぐりや枯れ葉を拾って秋を感じながら楽しめたらと思います。また拾った物で手作り楽器なども作って遊びたいと思います。

福井真裕子 立田瑛怜菜 松岡桃花

## ～つぼみぐみ～

ねらい：「秋の自然に触れ、身体を動かすことを楽しむ」

うた：どんぐりころころ、かわいいかくれんぼ、きのこ、やまのおんがくかい

夏が終わり、秋が近づき始め、朝晩は少し肌寒い季節になりました。子どもたちも園庭に出る際「あれ？今日は暑くないね」と気温の変化に気付き、季節の変わり目を体で感じている様子が見られます。9月の天気のいい日には幼児のお姉さんお兄さんと一緒に全身が濡れるほどダイナミックに水遊びを楽しむことができました。最近では園庭に咲いている朝顔の花を使って友達とピンクや紫の色水作りを楽しみ、めばえ組のテラスの前に数人で集まって家族ごっこを楽しんでいるつぼみさんです。

### ～先生！みててね！～

園庭の鉄棒が大好きな子どもたち。鉄棒をしている子の近くを通ると、「せんせい！みててね！」と声を掛けて鉄棒によじ登り、得意気につばめのポーズやぶら下がって布団干しのポーズをする子、中には足抜き回りや豚の丸焼きなどの技を披露してくれます。中には幼児さんが前回りをしている様子を見て、私もあれやってみたい！と保育者と一緒に挑戦する子もいます。いざ挑戦すると「やっぱりこわい」と言うこともあります。「でもしてみたい」と勇気を出して練習し、たくさんの時間をかけて一人でもできるようになると、満面の笑みで喜んでくれます。また、「ママにみせるの！」と嬉しそうにする姿を見て私たちも嬉しくなります。これからも鉄棒に挑戦する子ども達を見守っていきたいと思います。



### ～こわ～い!?おばけを作ってみよう！～

9月の朝のお集まりでは「おばけなんてないさ」の歌を絵本を見ながらみんなで歌っていました。子ども達にも人気の歌で、おばけが好きになるきっかけにもなりました。そんなこわ～いおばけを作ってみよう！となり、白い絵の具を使って黒い画用紙におばけを表現して遊びました。手のひらいっぱい絵の具をつけて手形でおばけを表現する子もいれば、絵の具を指にとりぐるぐると描いて表現する子、オクラを使ってスタンプで表現する子など様々でした。中には真っ白の絵の具がついた手で「おばけだぞ～」と友達と楽しそうに顔を見合わせる姿も見られました。絵の具が乾いた後はハサミとノリを使って、赤と黄色の画用紙で目と口を作り、個性豊かな絵本にも登場するこわ～いおばけを完成させることができました。また、部屋に飾った作品を見て「あれ、わたしがつくったんだよ～」と嬉しそうに教えてくれる子ども達です。



### “担任の思い”

つぼみ組になってからあっという間に半年が経ち、自分の思いや家での出来事をよく話してくれるようになりました。子ども同士の会話のやり取りも増え、毎日一緒に遊ぶことを楽しんでいます。生活を共にする中でお互いの思いが通じ合い、喜ぶこともあれば上手く伝わらず喧嘩になってしまうことも多々あります。しかし、そのような経験や葛藤を乗り越えて、相手への思いやりの気持ちが育まれてほしいと日々思って子ども達の仲立ちや声掛けをしながら「気持ち」を受け止めるよう関わっています。これからも子ども達の気持ちに寄り添い、様々な思いに共感しながら過ごしていきたいです。

## ～いぶきぐみ～

ねらい：「様々な自然物に触れあそびを楽しむ」

うた：「はしるのだいすき」「小さい秋」

園庭のどんぐりの木に実がついてきました。茶色くなったどんぐりが木の下にコロんと落ちているのを発見した子どもたちは早速、手にとり「先生！どんぐりみつけた！」と嬉しそうに見せてくれました。そのあとも大事に大事に手の中にギュッと握ってあそんでいました。これから気温も過ごしやすくなり園外にもどんどん出かけ変化していく自然に触れていきたいと思います。

### “ ひっかき絵 ”



絵本の「くれよんのくろくん」というお話は、いろいろな色のクレヨンたちが思い思いに絵を描いていき、黒のクレヨンだけが「ぼくの出番がない」としょんぼり。そのうち他のクレヨンたちは自分が自分が色を重ねていくうちにぐちゃぐちゃになってしまい、



シャープペンのお兄さんが提案をして上から黒一色で塗りつぶしペン先でひっかくといろいろな色が表れきれいな花火ができるというお話です。



早速クレヨンと画用紙を用意していると「やってみたい」と子どもたち。自分の好きな色のクレヨンを手に取り「この色がいい」「みて！きれいに塗れた」と力強く塗っていきました。最後に黒を塗るときに「え～このままできれいなんだけどな」と黒で塗ることを嫌がる子もいましたが、絵本の話をする「そっか、きれいな色がでてくるんだ」とお話しを思い出し手が真っ黒になるのも気にせず塗りつぶしていきました。そしてつまようじでひっかいていくと、いろいろな色が表れました。「うわ！きれい！」「ここも色がでてくる」「これ、おうちにもってかえりたい」と子どもたち。自分の作品をとてもうれしそうにながめていました。



### “ いっしょに行こう ”

ペアのだいち組のお兄さん、お姉さんから朝の集い、おやつなどに誘ってもらい一緒に行っているいぶき組の子どもたち。最初のころは、緊張していた表情でしたが関わりが増えていくと共に、最近では自分から、「いっしょに行こう」と手をつないで向かう姿も見られるようになりました。

午睡後はまだ眠たくてベッドからなかなか起きられない、いぶきの子どもたちを根気強く起こしてくれて、待ってくれるだいちさん。

その後、一緒に楽しそうにおやつを食べている姿を見ると関わり大切さをとても感じます。今、接してくれているだいちさんの優しさやあたたかさを心のどこかでずっと覚えていてくれたらうれしいなと思います。



### “ 担任の思い ”

いぶきになりあつという間に半年が経ち、10月を迎えました。子どもたちは自分の身のまわりのことをしっかりとできるようになってきました。脱いだ衣服をたたむことや昼食では食べ終わったあと、机の下に食べこぼしたごはんがないかなども確認しています。「あ、ここにこぼしてた」と見つけてティッシュにとり、きれいにしています。きれいになったときの嬉しさや気持ち良さ、ほかの人みんなが気持ちよく使うことができるようにすることの大切さも伝えていきたいと思います。

## ～ひかりぐみ～

ねらい：「自分の思いを伝える、友だちの思いを知る」

うた：「ちいさい秋」「つき」

朝や夕方には涼しい風が吹き、夏から秋へ変化する季節の移り変わりを感じます。少しずつ子どもたちの遊びや友だちとの関わりも変化し、だいちの姿を見て真似たり、鉄棒の逆上がりに挑戦したりと興味を持って取り組むことの幅が増えてきました。クラスの友達同士で集まり、鬼ごっこやグリコをして遊ぶ姿も増え、遊びの中での関りも広がってきています。10月も秋の自然に触れながら、たくさん体を動かして元気いっぱい遊びたいと思います。



### “逆上がりに挑戦だ！”

鉄棒で逆上がりや連続逆上がりをするだいちさんの姿を見て、ひかりさんも「先生、逆上がりのお手伝いして！」「ねえみてて！」と鉄棒に挑戦することが増えてきました。毎日、園庭に出るとすぐに鉄棒目掛けて一直線。

何度も何度も繰り返し練習する子の姿がありました。毎日練習をする



ようになって1週間ほど経ったころ、いつものように繰り返し取り組んでいる

と、くるっときれいに一回転。みごと逆上がりが出来るように

なりました。「さかあがりできたー！」と達成感に満ち溢れた嬉しそうな顔を見

て、周りの友達も「すごいね～」と自分のことのように喜んでいる姿が印象的でした。その日から「ぼくもやってみる」「さかあがりってこう？」と友達と一緒に練習しているひかりさん。いろんなことへの興味が広がりどんどん出来るが増えていく子どもたちの姿を一つ一つ大切にこれからも見守っていきたいと思います。

### “巨大バッタ”

ある日、虫かごいっぱい虫を捕まえて保育園に持ってきてくれた子がいました。休みの日に甲山で捕まえてきた虫は、園庭で見つけるよりも大きくて、みんな興味津々。どんな虫を見つけたのか、どうやって捕まえたのか、みんなの前で少し話をしてから園庭に虫を逃がしてあげました。園庭に出ると毎日のように色々な虫を捕まえていて、触ることなんてへっちゃら！なひかりさんも、思わず後ずさりしてしまうほど大きくて立派なバッタやカマキリ。あまりの大きさに少しドキドキしながらも、一度触ってみると



「さっきみつけたのよりおおきいな」「めっちゃつよいで」と大盛り上がりでした。

いつもは「虫は苦手なの」と近づかない子もみんなが楽しそうに虫を

触っているのを見て、なんだか気になる様子…。そーっと覗いてみたり少しだけ

触ってみたりしていました。これからも自然に触れて楽しむ子ども達と一緒に、

秋に移り変わる自然を感じながら過ごしていきたいです。



### “担任の思い”

夏の遊びを楽しむ中で、友達との関わりが広がってきたように思います。今までずっと一緒に遊んできた気の合う友達だけでなく、遊ぶ機会の少なかった友達とも笑い合って楽しそうに遊んでいる姿が見られるようになりしました。遊びの中からもたくさんの友達と関わり、言葉で互いの思いを伝え合い認め合うことができたらいいなと思います。10月は、落ち葉を踏みしめたりどんぐりを拾ったりと夏から秋へと変化する秋の自然を感じながら過ごしていきたいです。

## ～だいちぐみ～

ねらい：「自分の想いを友だちと共有する」「身の回りの物を大切にしようとする」

うた：「ちいさい秋」「だいだいだいぼうけん」

夏の遊びも一段落して、自分のやってみたいことに、じっくり遊び込む姿がよく見られた9月でした。

子ども達の想像力は素晴らしく、ひとつのきっかけから遊びがどんどん広がっていきました。10月には

“きっとできるだいぼうけんの日”があります。この行事を通して自分のやってみたいことに、思う存分取り組み、自分の思いや考えを周りの人に伝え合うことで、イメージを共有する楽しさを感じて欲しいです。

### “エルマーとりゅうにあってみたい”



先月のかえでゆうびんでもお知らせしましたが、エルマーとりゅうのお話に夢中のだいち組。だんだん読み進めていくうちに「エルマーとりゅうにあってみたいなあ。」と話すようになり、いったいどうやったら会えるのか、話し合いが始まりました。「りゅうが好きなみかんの木を作ってみようよ。」「でもりゅうは人間が嫌いだからなあ。」「それならエルマーみたいに帽子や長靴を作ろう。」「笛を吹いて呼んで



みる？」などなどたくさんの意見が出てきました。みんなで話し合った次の日から、どの方法だとエルマーやりゅうに会えるのか、試してみることにしました。段ボールを切って羽の形にして、飛び練習を試してみたり、積木やカプラでみかんの木とりゅうを作ってみたり…。子ども達の発想はどんどん繋がっていき、「今日はこれを試してみよう！」と毎日張り切っていたある日の事。

いつものようにお話を読もうとみんなで集まって座った途端、急に風が吹いてひとつの紙飛行機がひらひらとみんなのもとに落ちてきました。(きっとだれかの落とし物が風に飛ばされたのですが…)

その様子を見ただいち組は大慌てです。「大変や！りゅうがきた！」「きっと羽の風やおも。」「みんなで作ったみかんの木に気づいたんだ！！」とみんな大興奮で、考えを次々に話し出します。

この出来事を通して、今までは子ども達のなかで、エルマーや、りゅうは本当にいるのかな？という気持ちだったのが、本当にいるんだ、という気持ちに変わったようでした。



その日から遊びがどんどん広がっていき、いまでは自らがお話のなかに出てくる役になりきって、ペープサートをして楽しんだり、すべて読み終えてしまった3冊の本をもう一度最初からみんなで読み直す事で、作りたい物や、エルマーやりゅうに会える手がかりを探し、いつか会える日を心待ちにしています。これから、だいち組と、エルマーとりゅうの物語がどう繋がっていくのか、とても楽しみです。

### “担任の思い”

エルマーの冒険のお話は、大人も子どもも夢中になって、引き込まれていきます。読み進めながらも子どもの表情を見ると、ちょっぴり怖いときはドキドキ、楽しいことが続く時はわくわくしていることが伝わってきます。作りたいものも、やってみたいこともたくさん出てきて、毎日何か目的を持って登園してくれているように感じて嬉しく思います。子どもたちのドキドキわくわくする気持ちを無くしてしまわないように、大切に大切に、職員全員で関わり、“きっとできるだいぼうけんの日”に向けて、子どもたちと一緒に計画しています。もし子どもたちが、家に帰ってから、エルマーやりゅうの出来事を話してきたときは、ドキドキわくわくが続くよう、ぜひゆっくり聞いてみてください。

林 奈津美

## ～はま・かぜグループ～

### ～こっちをめくってみて～

一人で絵合わせのカードゲームをしているいぶき組の A ちゃんがいきました。そこに「ひとりやってるの？いっしょにやろう！」と声を掛けるだいち組の友達がやってきました。A ちゃんは「やる！」と少し嬉しそうな表情で答え、4 人ですることになりました。

ゲームがスタートし、記憶力のいいだいち組は次々にカードをとっていきます。するとはじめは楽しそうに遊んでいましたが段々と表情が曇ってくる A ちゃん。なかなかカードが取れなくて悔しかったので

しょうか。A ちゃんの変化に気付いただいちさんの B ちゃんが A ちゃんに小声で「ここやで」「こっちめくってみて」とこっそり教えている場面がありました。一緒にゲームをしていた他の子ども達も「ずるい！」と言うことはなく、カードを取れた A ちゃんに「よかったね～」という声まで聞こえてきました。

自分たちの勝ち負けにこだわるのではなく、みんなが楽しめるように考えられることがとても素敵だな、と思った瞬間でした。



### ～ようちゅうみつけたよ～

ある日の出来事です。だいち組の子どもたちが砂場の近くで幼虫を見つけました。「ねえきて、あそこにたくさんようちゅうがいたよ！」と見つけた場所を指さしながら、いぶき組とひかり組のお友だちに声を掛けると、みんな目を丸くして、幼虫を早く見たいとばかりに走り出しました。

幼虫を指さしながら、「ほらみて！ここにいるの」「ほんとだ！なにのようちゅうかな？」「かめらでとってしらべてみよう」と、子どものカメラで撮ることに。子どものカメラを持っていたのは、いぶき組のお友だちでした。

しかし、まだカメラの使い方をよくわかっておらず、うまく撮ることができません。その様子に気づいたお兄さんお姉さんたちは、「このボタンをおすんだよ」と優しく教え、傍で見守っていました。「とれた！みてみて」と上手に

撮れた写真を傍にいたお兄さんお姉さんに見せ、みんなで確認します。うまく写真を撮ることができたことが嬉しいいぶき組と、その姿を見て嬉しそうなひかり組とだいち組の様子から、とてもあたたかいものを感じました。



### “担任の思い”

だんだんと違うクラスの友達の名前も分かるようになってきて、名前を呼んで会話する姿を見かけることが多くなりました。折り紙が上手なのは誰か、積み木を組み立てるのが上手なのは誰かも把握しているようで、困ったときはその分野が得意な人に聞きに行ったり手伝ってもらっている場面も見かけるようになりました。興味関心から友達の関わりが増えていることを嬉しく感じます。

小寺 涼香 峰 夏音

## ～職員からのメッセージ～

春に子ども達と野菜や植物の苗を植える事が私の楽しみの一つです。

毎年クラス発表があると子ども達の顔を浮かべながら「今年はどんな花や野菜を育てようかな～」とワクワクしながら考えています。今年度のひまわりは初挑戦でしたが、私の大好きな花でもあり、絶対きれいに咲かすぞ！と子ども達以上に意気込んで一緒にお世話を進めていきました。植物を育てる中で出会う発芽の瞬間や、大きく伸びていく過程など毎日の変化がとてもおもしろく、そして不思議だなとしみじみとさせられる事があります。特に今回のひまわりは爪程の小さな種が2、3か月後には子ども達の背丈を越えるほどにまで成長し、命の力強さを感じました。そして待ちに待った開花の日。手のひらほどの大きなひまわりが太陽に向かって黄色い花を咲かせ、子どもたちの嬉しそうな笑顔がひまわりの花と重なりました。植物を育てる中では小さな発見や変化を通して子どもたちとのコミュニケーションに場にも繋がります。

コロナ化で不安な世の中、なかなか出かけられないこのタイミングにぜひご家庭でもお子さまと一緒に栽培に挑戦し、植物に癒されてみてはいかがでしょうか？

今井 奈沙

## ～お父さんからのメッセージ～

私は、学校で教師をしています。

はじめて父親となり、自分の子どもを預かってもらう親の気持ちがわかりました。

「今日はこんなことをして、こんなことに悩み、こんなことに喜んでいました。」

「今日はこんなふうにお話をしてくれました。」「ここで転んで擦り傷をつくりました。」

「友達とこんなことで喧嘩をしてしまいました。でもそのあとこんなふうには仲直りをしていました。」

毎日、かえで保育園の先生方の言葉を聞いて、「これだけの人数の子どもたちの様子をここまで事細かに見ているのか」と驚きました。出来たことも、出来なかったことも、成功も失敗も、良いところも悪いところも、すべてを受け入れ見守る。保護者は「自分の子どもを見てもらっている」というその「眼差し」に安心するのだということを知りました。

子どもたちを支える「眼差し」の裏側には日々の果てしないご苦労や準備があることと思います。朝7時前から出勤され、夜19時以降まで灯りのともる先生たちの部屋。行事になれば飾り付けの準備や片付け、コロナ禍での感染対策。保護者の思いに寄り添うための日々の取り組み。きっと私には計り知れないことばかりだと思います。そんな苦労を微塵も感じさせず、いつも笑顔で子どもたちに温かい「眼差し」を送り続けてくださる、保育士のみなさまにほんとうに感謝しかありません。

最後にInstagramに「保育園に言いたい」という投稿がありました。少し転載します。

- 1、たくさん遊んでくれてありがとう
- 2、たくさん褒めてくれてありがとう
- 3、おいしい給食をありがとう
- 4、子どもの安全を守ってくれてありがとう
- 5、相談にのってくれてありがとう
- 6、保護者にも笑顔で出迎えてくれてありがとう
- 7、子どもも私も先生が大好きです

## 保護者の方からのお話コーナー

夜ごはんの時、デタラメの指使いでピアノの真似事をしていました。

「ピアノ習いたい！」なんで？と聞くと「音が綺麗だから」「日笠先生がチューリップ教えてくれたから」という答えが返ってきました。母が教えなくても園で沢山の事を吸収してくれてとても助かります。

ひかり組 ことみさん

だいち組の兄は、みんながお昼寝している間の、ひみつの時間にエルマーの本の読み聞かせがあり、すごい楽しいみたいです。「りゅうを探す冒険」に行くために、みんなの望遠鏡をつくったと話してくれ、どっぷりエルマーの世界観に入り込んでるなと思いました。ふたば組の弟は最近、仲良しのお友達と帰る時間が重なると手を繋いで出てきてくれ、束の間の癒しです。

だいち・ふたば組 まりこさん

最近、よく保育園に本や玩具を持って行こうとする息子。〇〇先生に、〇〇ちゃんを見るの！等お友だちや先生の名前がずっと出てくるように。息子の中で人との関りが広がっているようで良かったなと思っています。

つぼみ組 ゆういちろうさん

普段お家では、園での様子をあまり話さない息子ですが、お友達と公園で遊んだ後「また明日保育園で遊ぼうね」と言っているところを見たら、お友達と仲良く過ごしているんだなと感じています。また、お家に帰ったら普段していないダンスを披露してくれたりして、よく聞いたら「〇〇くんから教えてもらった」等、お友達が出来ているようで嬉しいです。

ひかり組 みょうこんさん

4月に弟が入園し半年が経とうとしていますが、毎日とても楽しそうです。色々な事をどんどん覚えてきてはお家で見せてくれます。お兄ちゃんも一緒に通っている事が嬉しいようで、家ではあまり2人で遊んだりしません、園ではお世話したり遊んだりしているようです。

コロナ禍で気が滅入る事も多いですが、そんなお話を先生方から聞くと癒されます。何時も大切にして頂き感謝しています。

めばえ・いぶき組 あやかさん

## ☆お台所より☆

暑い夏がようやく終わりを迎え、秋風が涼しく過ごしやすい季節になってきました。

10月も、秋に美味しい旬の食材を取り入れたおいしいお昼ごはんやおやつを作っていきます。

保育園での生活も半年が経ち、私自身も保育園での食事づくりにも慣れてきました。

最近の子供たちから「先生！」と元気いっぱい呼びかけてくれたり、「先生これ見て！」

「先生、今日のご飯は何？」と積極的に話しかけてくれます。そのたびに、子どもたちとの距離が近くなったと感じ嬉しくなりました。子どもたちの元気いっぴいな顔や楽しそうな顔を

思い出したり子どもたちとの思い出が増えるたびに、よりいっそう美味しいお昼ごはんやおやつを作りたいと思います。

### ～こんなことがあったよ～

近年、大雨や地震などの災害がよく起こっているように思います。

災害が起きてしまった場合でも、日頃の備えが大切です。かえで保育園ではマニュアルに基づいて対策を踏まえ、食料や飲料水を備蓄しています。

賞味期限が近いものは、災害の話をし、お昼に提供することがあります。

今回は、缶詰のおでんを幼児のみ味見をしました。



9月の誕生日会のケーキはパフェ風ケーキにし、果物は9月の献立でデザートやおやつとしても多く登場した梨とみかんを乗せました。おかわりに梨やホイップクリームやスポンジがたくさんあったため2回目のケーキを作ってもらい、目をキラキラさせて嬉しそうな様子が見られました。

### ～10月の献立 旬の食材～

10月は食欲の秋、10月の献立では夏の強い日差しのエネルギーをたくさん蓄えた秋の食材を考えています。

10月の旬の食材は、チンゲン菜・えのき・しめじ・エリンギ・さつまいも・かぼちゃ・柿・鮭です。

さつまいもは豚汁に入れたり、かぼちゃを揚げておやつに提供したり様々な調理法で子どもたちに食べてもらう予定です。おいしく変身させるのが楽しみです。

9月の献立では、かぼちゃの煮物やかぼちゃのそぼろ煮とお昼ごはんに登場していたかぼちゃですが、10月の献立ではおやつでかぼちゃ団子として登場します。また、秋に美味しい野菜といえばさつまいもです。さつまいものサラダや大学いもとして登場し献立をよりいっそう秋らしく彩ってくれます。園庭でもさつまいもを育てており、収穫の時期が近づいてきています。園庭をのぞくと生き生きとしたさつまいもの葉っぱやツルが見え、収穫はまだかな早く掘って欲しいなと言ってきているようで、収穫のときが待ち遠しいです。

栄養士 廣田 恵 坂口 未奈美



#### 【実習受け入れ】

- ・武庫川女子短期大学生の実習を受け入れします  
10月18日～28日 2名
- 1日～学生ボランティアが1名入ります。
- 1日～厨房の補助の方が入ります。
- 4日 防犯カメラ南側テラスへ増設の工事  
園庭砂場の砂追加

#### こんなことしたよ♪

#### ・お月見団子

9月21日手作りのお団子を作りお月見を楽しみました。お月見団子とは別に子どもからのリクエストでみたらし団子にして食べました。



甘くてほっこりしました

#### ・クラルテ人形劇

9月28日、クラルテ人形劇を鑑賞しました。感染症対策で2部制にしました。第1部は月を捕まえたいカマキリが木を登ったり縄を使ったりと様々な方法を試します。第2部は卵から生まれたイモムシが、クモや蜂に「ずんぐりむっくりのイモムシ」と言われ悲しんでいる時にとても愉快なイモムシの仲間たちと出会います。そして、きれいな蝶になり大空に羽ばたいていく…というお話を見ました。劇中にはたくさんの珍しい楽器が使われており、中には使わなくなった自転車の部品を組み合わせて作った物もありました。子ども達は個性豊かな登場人物や初めてみる楽器に目を輝かせていました。



## ☆お願い☆

・緊急事態宣言が明けましたが、園児だけでなく、ご家族の皆様の発熱はもちろんのこと鼻水・咳やいつもと違う場合は必ず受診して病院の指示を受けてください。また、少しでも風邪の症状がある場合は病院受診がないと保育を受けられません。体調不良で急遽、コロナに関するPCR・抗原検査などを受ける場合は必ず検査の前にお迎えにお越しください。

・登園後の体調の変化で連絡する場合があります。保護者の方の仕事がお休みの場合は家庭保育をまた休暇・自宅での仕事の場合は必ずお知らせください。

・降園時の申し送りは、密を避けるため緊急事態宣言が解除となっても短時間で行います。ご了承ください。

#### 10月の予定

感染症の状況で変更・中止する場合があります

\*2日(土) だいちぐみ だいぼうけんの日  
(めばえ～ひかりぐみは家庭保育に協力お願いします)

\* 8日(金) 全園児お弁当日  
お弁当のご用意をお願いします

\*20日(水) 月例健診

\*26日(火) 誕生会

\*27日(水) 消防署立ち合い訓練(予定)  
消防設備点検

\*7・14・21・28日(木) 体操

\*13・22日(水・金) 絵画

\*18日(月) 香櫨園小学校就学前健診

\*22日(金) 用海小学校就学前健診

\*29日(金) 浜脇小学校就学前健診

#### 11月の予定

\*3日(水・祝) かえで保育園記念式典

※詳細が決まり次第、お伝えします。